

アジアにおける感染症対策 (CCIDA) 2025 バンコクにおけるエボラウイルスおよびその他の危険な感染症への対応

公衆衛生感染症局
保健局
バンコク都庁

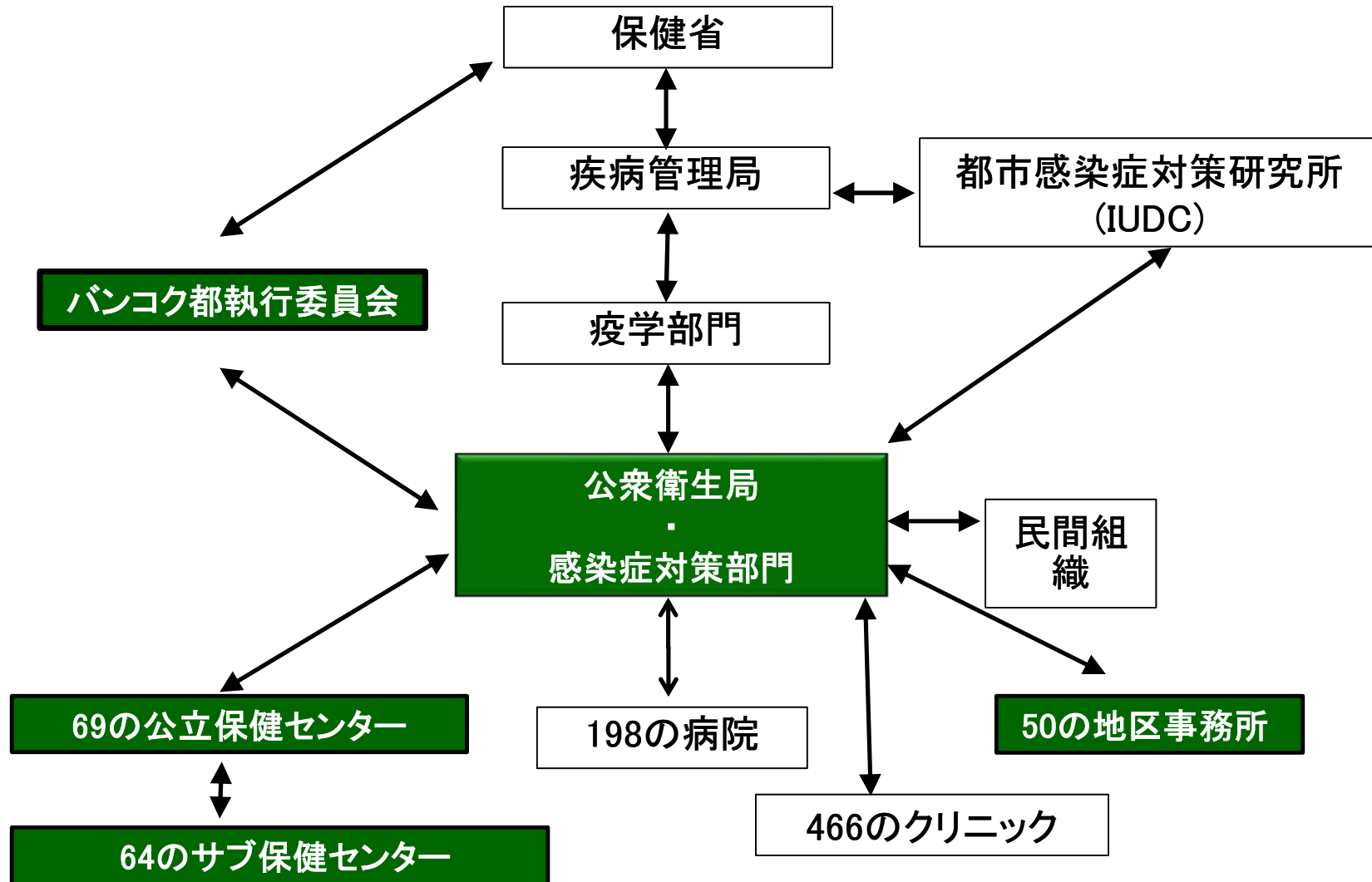
バンコク: 主要な人口統計データ



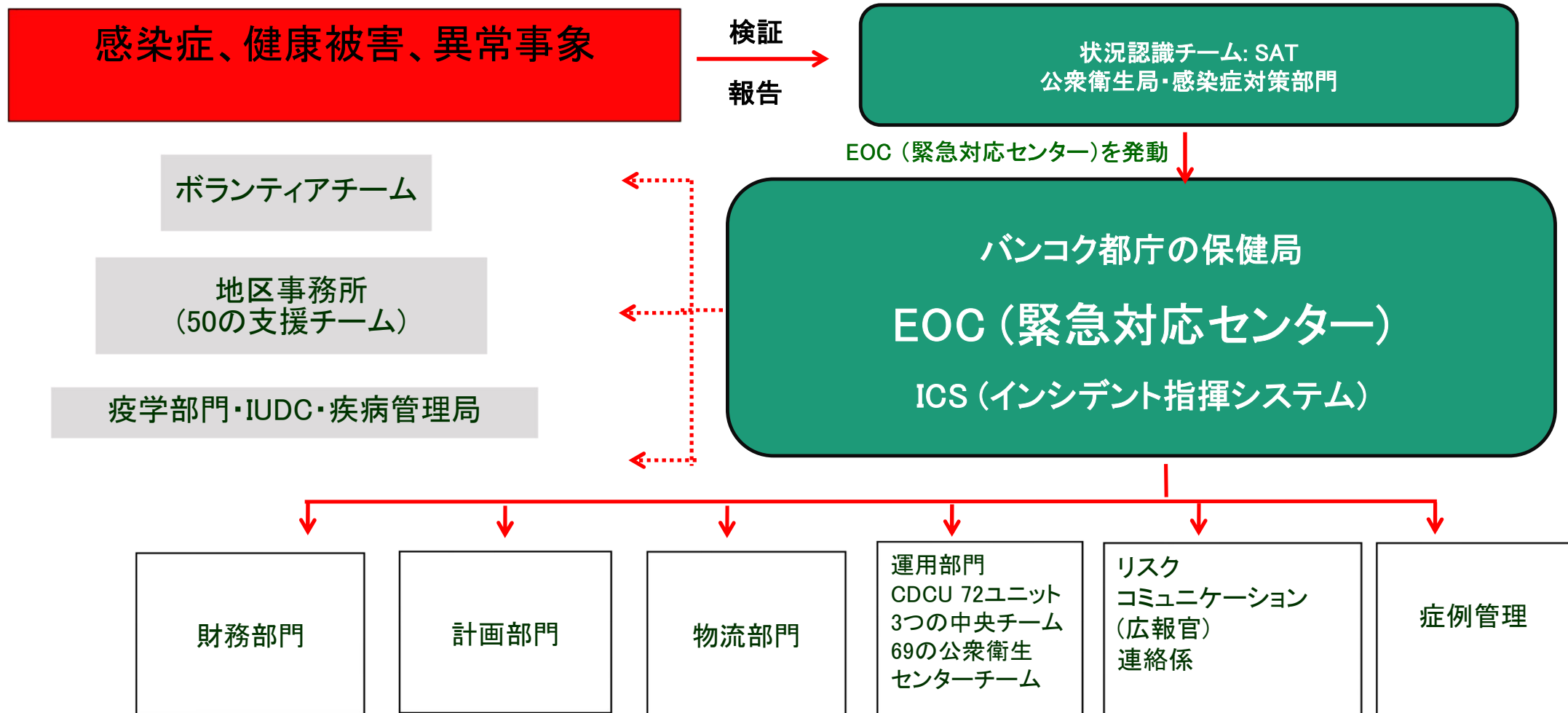
登録人口: 5,674,843人(男性: 2,692,954人、女性: 2,981,889人)

総人口(国勢調査データ): 910万人、総面積: 1,568 km²、行政区数: 50区

バンコク感染症対策ネットワーク



緊急時における感染症対策フロー図



バンコクにおけるエボラ出血熱および高リスク感染症への対応

- タイの感染症法 (B.E. 2558 / 2015年) によると、公衆衛生省は特定の疾患を「危険な感染症」に指定しており、これはその重症度と急速な感染拡大の可能性によるものです。これらの疾患には以下が含まれます。**ペスト、天然痘、クリミア・コンゴ出血熱、西ナイル熱、黄熱、ラッサ熱、ニパウイルス感染症、マールブルグウイルス病、エボラウイルス病、ヘンドラウイルス病、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、および広範囲薬剤耐性結核**
- スクリーニングおよび国境管理対策: 空港および港湾における審査、検疫プロトコルの実施
- 病院の準備および隔離ユニット
- 緊急対応チーム
- 公衆の意識向上およびリスクコミュニケーション
- バンコク都知事の緊急権限:
 - 感染症の発生時に、市場、工場、学校、公共施設の一時閉鎖を命令可能
 - 感染者および感染疑いのある人物の移動制限が可能
 - 感染者が許可なく公共の場に立ち入ることを禁止することができる

バンコクのエボラおよび高リスク感染症への備え

- 監視および早期検知システム
 - バンコクにおける感染症の発生リスクを監視および特定するための体制
- リスク評価およびシナリオ計画
 - 発生の確率や影響度を評価し、適切な対応策を計画
- バンコク感染症対策委員会の役割：
 - 感染症監視および制御のための政策、システム、ガイドラインを実施
 - 感染予防および発生管理のための行動計画を策定
 - 未知の病原体や新興感染症の脅威を局長へ報告
 - 関連する公衆衛生機関の業務を支援・評価
 - 国際的な感染症管理のため「入国地点作業チーム」を設立
 - 必要に応じて証言や追加情報提供のために関係者を召喚可能

バンコクで報告された危険な感染症

- 調査対象患者(PUI)の通知件数(13種類の危険な感染症)
期間:2024年1月1日～12月31日(n=9)

No.	危険な感染症	通知PUI	確認PUI	現地調査症例	確定症例
1	ペスト	0	0	0	0
2	天然痘	0	0	0	0
3	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0
4	ウエストナイル熱	1	1	1	0
5	黄熱	2	2	2	0
6	ラッサ熱	1	1	1	0
7	ニパウイルス感染症	0	0	0	0
8	マールブルグ病	0	0	0	0
9	エボラウイルス病	1	1	1	0
10	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0
11	重症急性呼吸器症候群(SARS)	0	0	0	0
12	中東呼吸器症候群(MERS)	4	4	0	0
13	超多剤耐性結核	0	0	0	0

ご清聴ありがとうございました